

■部会 Report

技術部会 自然環境WGの活動紹介

自然環境 WG グループリーダー 矢後 賢次

富士電機システムズ株式会社

自然環境WGでは、風車建設前、建設中、建設後など設置にかかわる自然条件の諸問題に対してのテーマを選定し改善・処置方法の提案や方針のまとめを行い、会員に広く啓蒙活動を行っています。

19年度は、風車設置に関して地域住民からの意見として風車が建設される事に対して景観が悪化するということに着目し活動してきました。

自然環境WGでは、セミナーも開催しており平成14年度は雷に関するセミナー、平成15年度は環境アセスメントおよびバードストライクに関するセミナーを開催し会員に対しての啓蒙活動を実施しています。

平成19年度の活動テーマは景観と言う事に着目し、都道府県レベルにおける条例が制定されているか、又は市町村レベルなのかと言う疑問点から情報収集を行い、現在、集めた情報を精査しているところです。

これは風車建設計画時点で障害ともなっている景観問題を選定しこの考え方や対応の仕方などを検討していきます。

現在TV報道などで風車の見え方に対しての近隣住民の異論が報道され、計画変更等が余儀なくされている計画が数箇所あるとの報告を耳にします。

これを事前に解決する手段として微力ながら、風車の見え方を事前に検討が出来るように、その対処方法を紹介できれば自然環境WGの成果ではないかと考えています。

昨年度の報告でも申し上げましたが当年度はテーマを絞り込んだ活動として外部報告および講習会が開催できるように工夫し、継続しています。

当年度の自然環境WGの成果目標は風車建設に係わる風車建設後の見え方を検討・考察するテーマとしてビジュアルインパクトの公演を開催したいと考えています。

その経過として風車の見え方の指向性を高める意味で、学識経験者等へ講演の依頼を行う事としています。

得られた情報は第一段として景観条例の制定情報の一覧。

第二段としてこの情報を基にしたアンケートの実施と得られたデータの精査・報告。

第三段は環境条例を踏まえた風車の見え方(ビジュアルインパクト)の公演開催。

最後に平成19年度自然環境WGの活動計画としては下記を目標としています。

自然環境WG2007年度活動計画

活動方針

「自然環境と風車の共存」

主要テーマ

「風車を与える景観とその影響」

施策

「風車設置前後の比較および風車設置後の景観対策(各県における景観条例対策調査含む)」

成果目標

「ビジュアルインパクトの講演および景観対策の報告書まとめ」

期待される効果

「設置計画への盛り込み」

スケジュール

「1月/回の月初めの週末と設定予定。」

平成19年度の参加メンバーは以下の6社となっています。(順不同)

- 日本通運(株)
- IPPジャパン(株)
- E&Eソリューションズ(株)
- 安藤建設(株)
- 鹿島建設(株)
- 富士電機システムズ(株)

